

.....ミッション始動?!

祝!!

ユネスコ世界ジオパーク認定!!

白山手取川ジオパーク!!

by

霊峰“白山”

∞の光

根源太陽の御子

白山菊理姫太神

(新)宇宙弥勒神界 & N.GWBH!!

2023年6月1日 午前10時

“白山比咩神社おついたちまいり”正式参拝にいつてきました!^^

その、動機は

2023年5月24日、“白山手取川ジオパーク”が

“ユネスコ世界ジオパーク”に、正式認定!!! という

素敵なサプライズにあります!!

＼(^o^)／

そういえば、近くの公園にも、“白山手取川ジオパーク”の看板、ありました…

地上セルフは、地元民ながら

そのような事にはまるで無頓着なので(^; **ビックリ?!**

のち、大きな感動と喜びに包まれましたー！！！！ パチパチパチパチ～

(もしかしたら、こうなることを知っていた?)

“手取川”も“白山”も、自身の生活の場であり

見どころの一つとされる“桑島化石壁”は、まさに

水(手取川ダム)の底に沈んでしまった、自身の故郷です！

遅ればせながら、白山手取川ジオパークについて、調べてみました^^

《白山手取川ジオパークとは？》

<https://hakusan-geo.jp/about/>

ジオパークは、大地の遺産の保護とその活用を目的とする自然公園です。

石川県白山市の全域が、白山手取川ジオパークとして日本ジオパークに認定されています。

白山を象徴として、大自然と人の暮らしがそこにある、

何気ない風景に隠された「大地の物語」

山－川－海そして雪、いのちを育む「水の旅」

水の旅とともにある「石の旅」

ジオパークで、地球の営みを体感しよう！！

自身はこれまで

“神”とは何だろう？との疑問から、

日々、“自己の内なる探求”を続けてきましたが

万物創造の源、宇宙の根源＝“神”は、自身の内側＝“魂”の座にあり

神とは自身そのものである、という事がわかってきました

私達人が、真の自己である“魂”の器として、“身体”をまとっているように

神は、大自然という“神体”に宿り

ずっと私達と共にあったこと、そして、これからもあり続ける事は

決して当たり前ではなく、奇跡とも言えること＝“有難い”（有る事難し）

なのだと、地上セルフはようやく気付きました…

何気ない風景に隠された「大地の物語」

“隠されていた”のは、神の意志であり願い

私達は、その協働創造者となっていく —— ！！！！

“ジオ・パーク”とは、神と人が一体となり、創造されていく

新しい地球の“雛形”と言えるのではないのでしょうか^^



白山手取川ジオパーク Web ページ <https://hakusan-geo.jp/about/>

【ストーリームービー】の中に

遙か昔、ユーラシア大陸の一部であった日本が、地形の変動によって

“一つの島”として、分かれ出た光景が描かれていて

はっ?! としました

龍のような形をした、小さな島国“日本”——

それは、地球の中心にあるとされる“シャンバラ”（龍宮）の

意志とパワー（エネルギー）そのものであり

“世界の雛形”として誕生し、やがて惑星“地球”を

光の大海原（大宇宙）へと導く“黄金龍体”となって飛び立つ？！

“国常立太神”の姿に見えたからです^^

かつて、“大地の創造主”であった“国常立大神”が復活する時は

“根源の太陽”が地球の中心に輝く、“今”であり

“国常立**太**神”となって、再び地上の創造主として蘇る時が来た！！

そして、黄金龍体（日の本の龍神、国常立太神）の復活によって成される

“地球”と、更なる“太陽系”（天の鳥船、鳳凰）のアセンションは

銀河宇宙の創造主である**“天之御中主太神”**との統合、回帰！！

イコール、“根源へのアセンション!!”でもあるのではないのでしょうか？^^



白山は、“**世界の山の王**”と言われます

“白き神々の座”であり

根源の“究極の愛の太陽”輝く、“神工のピラミッド”です

今、白山の神々が呼んでいる？！

世界中の全ての、山、川、海、大地が、待ち望んでいた時が来た！！

地上に誕生した、大自然（神々）の子供達（神人）とともに

日本からはじまる、**新・真・神“地球”創生！！**の時となった！！！！

そのような熱い思いが、魂の奥底から、沸々と湧き上がってきて

6月1日の、“白山比咩神社おついたちまいり”は
どうしても正式参拝！！と決めました^^



究極の神聖、美。。。

神は、自然

——根源の光の道—— 白山比咩神社 表参道

ついたり

一日10時の昇殿参拝は、今回が初めて？だったかもしれません

一日は平日となる事も多く、いつもは出勤前の早朝に

外からご挨拶をする感じでした

待合室は大勢の人——、時間となり拜殿へと進むと

席の最前列真ん中には、氏子総代である地元企業の代表の方が座られ

自身は何の考えもなく、少し間をあけて、その横に座りました

知らないとは、恐ろしきかな。。

今思えば、そんな所に、平気で座る人はいなかったのかもしれませんが？

なんとなく、その御紳士の不思議目線？(笑)を感じました

祭主の祝詞奏上につづいて、参拝者の氏名が

次々に言挙げされていくのを聞いていて、おついたり10時の昇殿参拝は

企業単位で参加されている方が多い事を知りました

式は滞りなく進み、総代の方に続いて

一般の代表三名の方による、玉串奉奠となりました

先に、「〇〇会社社員一同、代表〇〇様」と、二名の方が呼ばれ

？の間後、単身肩書ゼロ(笑)の、自身の名前が呼ばれたので前に進むと

背後から驚きの気？(一体どこの誰？的な…)のようなものが

一斉に押し寄せてきて、自身が驚きました(その場の集合意識が見えた?)

そんなにビックリしなくても。。。私は

根源アセンションプロジェクト **HAKU** (hamu) **SUN** 代表です！！

(私以外には誰もいませんが…笑)

心の中で胸をはり、感謝と決意の奉納をさせていただきました！

その後全員で“君が代”を斉唱し

希望と喜び一杯で、おついたちの白山さんを後にしました^^

“君が代”とは、根源の太陽(究極の愛と光)が中心となった

華やかで、明るい、アクエリアス新時代!

地上天国、ミロクの世です^^v

ブログにも UP しましたが、その日、琵琶滝で撮った写真がコチラです



宇宙船と宇宙人?…、次元の扉? のようにも見え

本当は、論理的・科学的な説明が出来るのだと思うのですが

地上セルフの私には、何だかよくわかりません

自身がここに感じるのは、青い光の帯(光エネルギー)、青龍?!

“青”=“水のエネルギー” でしょうか?

このところ何故か?“水”が気になっていた理由でもあるのでは?と

私達の地球は、“青い水の惑星”とされ、全体のほぼ70%が“水”であり

そこに生きる私達の身体の約60%も、水分で出来ていると言われます

水(根源の光が物質化したもの)は、地上の生命にとって欠かせないものであり

その貴重な水を、常に提供してくれていたのが“手取川”です



手取川に架かる“天狗橋”の上で、クラクラしたのは
強力な“水のエネルギー”を、感じていたからなのかもしれません

水 = 地球 = サナート・クマラ = 天狗の総帥?! ^^

(6月1日のブログ <https://ameblo.jp/mugendai-ai-hikari/entry-12805524830.html>)

故郷の村は、手取川を中心にして、東西に分かれていて

小学生の頃は、よく河原で遊んでいました

(川の流れと、大小の石しかなかった？気がするのですが…楽しかった！^^)

青い光、青龍(水エネルギー、地球霊王)に導かれるように

6月1日“白山比咩神社”をはじめりとして

6日の“金澤神社”、10日の“金劔宮”と、昇殿参拝が続きました^^

毎年6月には、金沢の礎を築いた藩祖“前田利家公”を偲ぶ

“金沢百万石まつり”が開催されます

開幕を告げる“お水取りの儀式”が、テレビ放映されていて

その舞台が、兼六園の一角にある“金城^{きんじょうれいたく}靈澤”です
“金沢”という地名の、由来となったといわれる澤(金洗いの澤)で
その隣に建てられているのが、前田家の祖先とされる
“菅原道真公”を御祭神とする“金澤神社”です
規模はそれほど大きくありませんが、ものすご〜く大きい?!
宇宙の様々な次元が重なった、多重空間を感じます^^

以前ここを訪れた時

御神前がまるで、愛の炎に包まれた“礼拝堂”?!のように見え

“聖母マリア”と“イエス・キリスト”

13次元“聖母庁”と、12次元“キリスト庁”がここにある?!

と思ったのでした^^

その背後には、太陽道を守護する“秦氏”、“聖徳太子”等のお姿も…

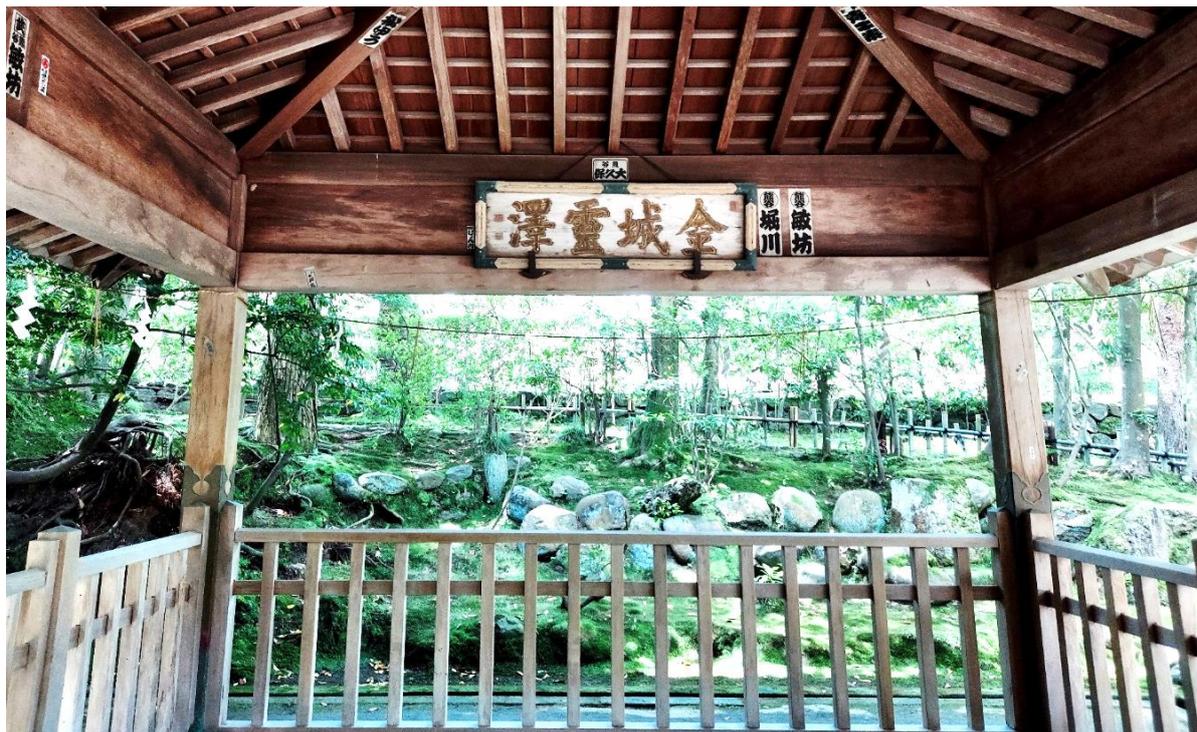
右手に見えるのが“金城靈澤”

左手には、岩を積み上げて鳳凰の羽ばたきを模したとされる

“鳳凰山”があります



いつ来ても、なんとも涼し気、別世界と感じます (シャンバラ? ^^)



カラスさん(八咫鳥?)が鳴いています^^

(もしかしてここは、愛と光のマイ・ネットワーク集合場所?!)

下を覗き込むと、尽きる事なく水が湧き出していると言われる

大きな穴があるのですが、中の様子が全く見えません



本当に水が湧き出ているのか？と疑うほど、水面は微動だにせず

鏡のように、周りの景色を映し出すばかり…

究極の“クリスタル”（天界のポータル）であると同時に

真っ白な光子が∞に溢れ出す、“根源の光の泉”（神界）を感じます^^

大自然が生み出す強大なパワーとは、こんなにも美しく、静かで

肅々としたものであったことに、感動を覚えます

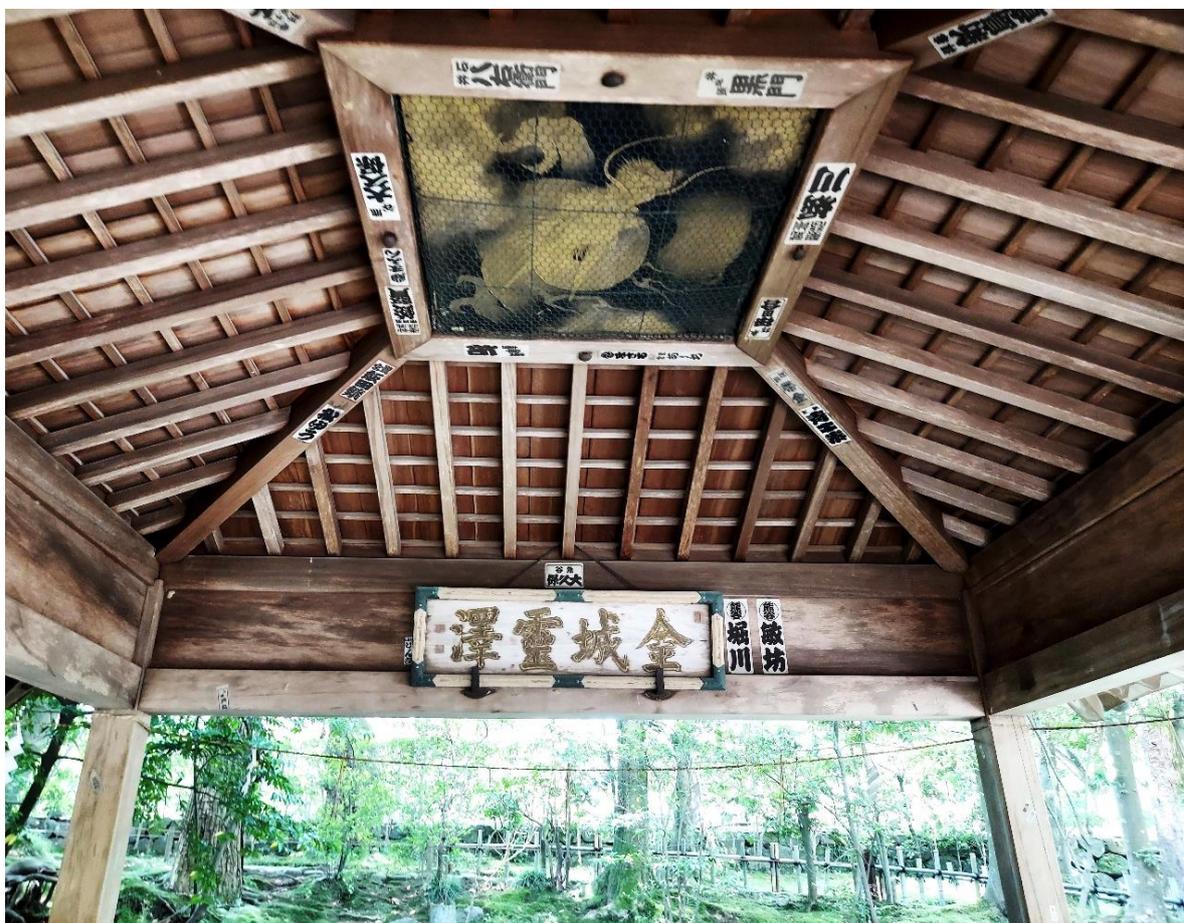
じっと見ていると、自身は溶けて、無くなってしまいそうです。。

上に目をやると

そこにあるのは、黄色？い龍？！

なんとなく、檻の中に閉じ込められているような。。

悲し気な雰囲気



今回の金澤神社参拝を、決定的にしたのは、この写真です^^



あの、マイ・ヒーロー&ヒロイン“蘭陵王”が、再び登場です！

“蘭陵王”との出会いのはじめは

2011年10月、(伊勢)外宮昇殿参拝でした！

別大々神楽最後の舞楽で、目の前に現れ出た、神人?!

(あやつり人形?というか…どうしても普通の人には見えません…足が宙に浮いていた!?)

蘭陵王の面を付け、地上で舞い踊る“外宮大神”の姿?!

それは、月の時代(突き=武力、陰の時代)

男性性の面を被り、果敢に生き抜いた、究極の愛の母性性

“母なる母”=“白山の女神”でもあります

そして中今、NMCの核心“根源天照皇太神”(根源太陽母神)の元に

男性性と女性性が統合・回帰した、

真の、“国常立太神”であり、“天之御中主太神”の姿です



蘭陵王の上、天井に描かれているのは コワイお顔の… “白蛇龍神”

(上記は、昇殿参拝直前に拝殿内から撮った、ド迫力の写真です)

追記:この恐ろしすぎる姿はなんだろう。。。と考えていて、浮かんだのが“良の金神”!

巳さん(白蛇龍神)のはなし(Web より)

当社は、天神さん(学問の神)として、多くの方に崇敬されていますが、
相殿としてまつられている白蛇龍神(通称 白蛇さん・巳さん)も、
火難・水難・災難除け・金運・商売繁盛の神として、多くの方々に崇敬されています。
御神体勧請由来記によれば、雄雌二体の白火蛇であるということです。

雌雄二対とは、“力愛不二”

恐ろしい表情(覇気)の、奥にあるもの。。。。

龍神のもつ力(男性性)と愛(女性性)の、二つの側面と感じます

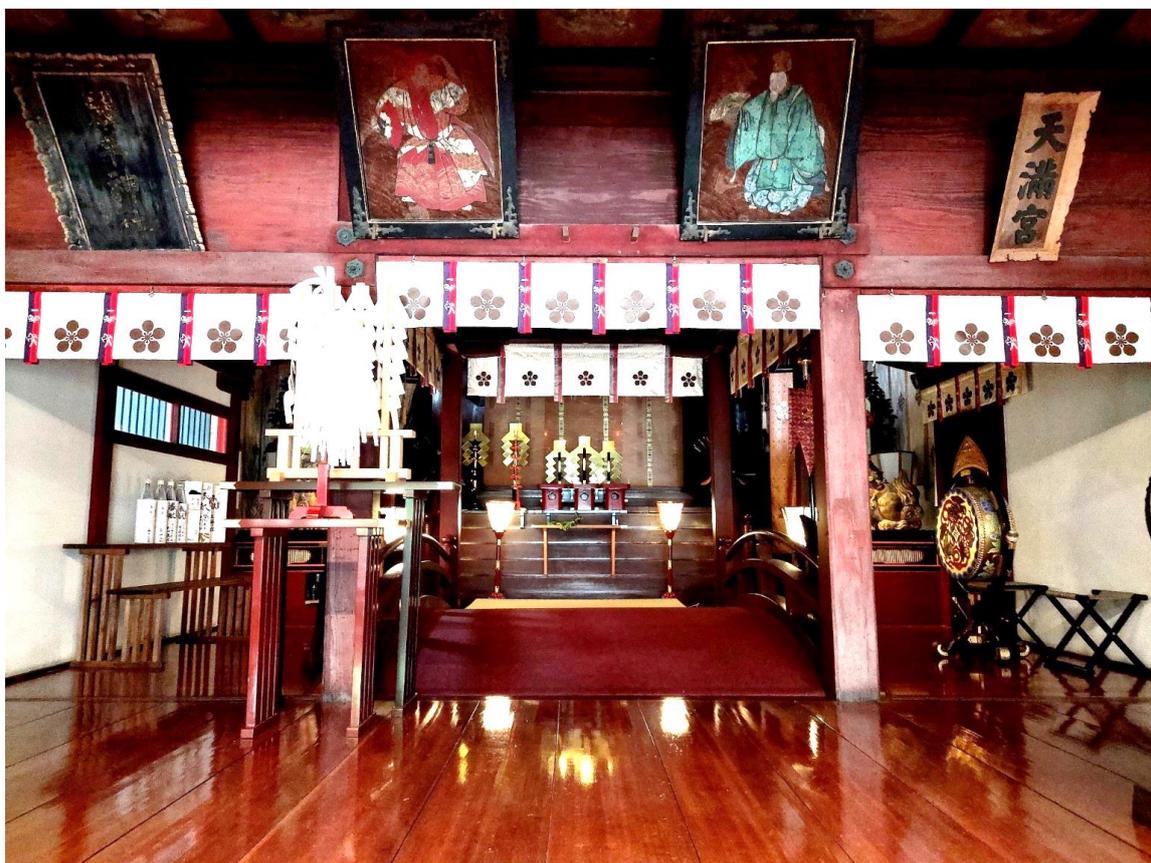
龍神さんの正面に小さく見えるのは、“赤ん坊”?

その意味を、神職さんにお尋ねすると

「大いなる神の前では、全ての人が赤子である事を象徴している」との事

自身は、恐れをもたない赤ちゃんの前では、どんな姿であろうと

“神と人”は“母と子”であり、力愛不二の母性性に帰結するのでは?とも^^



“赤”、“金”、“クリスタル” ——

金澤神社昇殿参拝で感動したのは、玉串奉奠の際

“赤いアーチ状の橋”を渡り

最奥まで進む事を許された?!という、驚きと喜びです

これまでの参拝では、御神体(神)のかなり手前に置かれた机の上に

榊(魂)を捧げる、という経験しかなかったので

えっ?こんなところまで進んでしまっていていいの?!と、一瞬怯ひるみました

橋=“アンタカラナ”(神と人の魂をつなぐ架け橋)と浮かびます^^

部屋が狭いから…、と言えばそれまでですが(笑)

社殿はただの建物ではなく、神域、エネルギー場なのだと思います

究極の愛の懐へと飛び込んだ!!という感じ?*^^*

本殿最大の見どころ?!と感ずるのが、屋根の頂点に立つ“鳳凰”です



当日撮った写真には、なんと

“鳳凰”が、空を飛んでいる～?! カラスさんには見えません(笑)



隣の鳳凰山から、やってきたのでは?!



鳳凰の“鳳”は雄、“凰”は雌とされ

雌雄一体となった、飛ぶ鳥の霊長が“鳳凰”であり

鳳凰山は、雌雄一体(統合)の象徴として造られたものとの事

それが、見える形となって現れた…? のかもしれません^^

四角形をした金城霊澤からは、“四神の図”が連想されます

天の四方の方角を司るとされる“霊獣”は

東の“青龍”、西の“白虎”、北の“玄武”、南の“朱雀”と言われ

その中央にあるとされるのが、“黄龍”?! であり

金城霊澤には、そのままがある?!

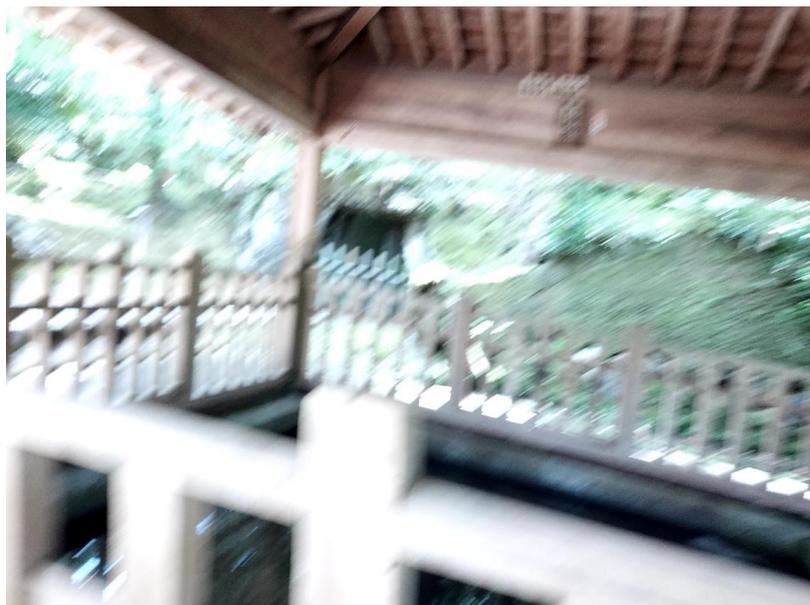
私をここに導いてくれたのは、(東の)青龍です! ^^

ここは、何かの舞台。。。イニシエーションの場なのでは?



金城霊澤(黄龍)と、鳳凰山(鳳凰)をつなぐ、青龍?!

檻の中の龍 = 日の本の“黄金龍神”の、封印をとく！！



《八十鈴 鳴る》

大八州 八十鈴 鳴りなりて 龍 と 鳳凰 ひとつなる

根源神界 天照皇太神 黄金龍神

いま、日の本の一なる根源が動き出しています。

日の本の一なる根源は、天照皇太神(根源太陽)です。

上にあるがごとく下にも。内にあるがごとく外にも。

古来より、日の本のすべての光のネットワークは、根源太陽を表す天照皇太神を

中心としたレイラインであり、そのエネルギーのネットワークです。

そのレイラインとエネルギー・ネットワークが、今、本格的に始動しはじめました！

それは、日の本の大八洲(おおやしま)のすべてに張り巡らされています。

そして、その唯一最大のポータル(門)となるのは、

神と人が一体となった神人の、一人一人の『御魂(みたま)』です。

それらが一体となって、共鳴しあい響くさまは、八十鈴が鳴るようであると言えるでしょう！

一なる至高の根源である皇神(すめかみ)、皇御親の中心から流入する、

その根源の光とエネルギー。

それと共鳴する大八洲すべてのレイラインと御魂。

それらが、真に発動する時、日本の全てのピラミッドが起動します！

それらは黄金に輝き、そして、根源の光子を生み出します。

その時、日本という“黄金龍体”は、

地球を導く“天鳥船”(あまのとりふね)となるでしょう！

人が動いて、神々が動く！

“感動”を、“真実”へ！！

= アセンション！！

(P.S.) 冬至の日(太陽の復活、キリストの復活を祝う日)は
太陽が、金城靈澤の真後ろに沈むため、黄金色に輝くのだそうです^^

最後に訪れたのは、北陸最古の神社と言われる“^{きんけんぐう}金劔宮”です

以前、金劔宮の御神木に“龍の枝”？が現れた？！

と、大きな話題になっていたようですが、“青龍”さんでしょうか？



金劔宮 本殿



御祭神は、天孫降臨で知られる“瓊瓊杵尊”、白山第一王子と言われます^^

あめにぎしくくににぎしあまつひこひこほのくにぎのみこと
古事記では、“天邇岐志国邇岐志天津日高日子番能邇邇藝命”とも表記され

“天邇岐志国邇岐”（天にぎし国にぎし）には、「天にも地にも親和的である」

との意味があるそうで、天と地を結ぶ太陽の御子と感じます^^

加賀一の宮“白山比咩神社”が、すぐそばにあるせいか

ちょっと影が薄い気がする…(^_^; ですが、創建は紀元前 95 年であり

舟岡山にある、白山比咩神社創始の地が、前91年とされるので

もっと古い、由緒ある神社です

古代出雲文化が早く海岸線を経て、能登地方に及んだのに対し、

この地方は大和文化の拠点であるばかりでなく、

総じて県内では最も古い、文化の発祥地であるから、神社の由緒でも

有名なことがらを数多く残している。(石川神社庁 Web より)

自宅の氏神社を直轄するのが、金劔宮なのですが

白山さんよりも、はるかに訪れる回数が少ない。。。です <(_)>

そしてなんと、正式参拝(昇殿参拝)は、今回が初めてなのでした?!

いよいよその時が来た!?

とても古い、謎の歴史が秘められている? 気がする金劔宮…

前回の訪問(2021年5月)で意識されたのは、“龍宮城”?! でした



ピカピカ
クリスタル?!

こちらは、本殿の隣にある境内社“乙劍宮”^{おとつぎ}です

御祭神は、“瓊瓊杵尊”と“木花咲耶姫”の御子である“彦火火出見命”

龍宮城を訪れ、“豊玉姫”と結婚したとされる“山幸彦”です

その間に生まれたのが“鷓鴣草葺不合尊”^{うがやふきあえずのみこと}であり

“神武天皇”の父と言われます

なんだか、このところがひっかかる…のは、私だけでしょうか？

豊玉姫は、龍宮城の乙姫様？

歴史の中に、おとぎ話？が入り込み、そのまま

何事もなかったように、現代へと続いている感じがします？

『ウエツフミ』、『竹内文献』、『神伝上代天皇紀』などの古史古伝には

鷓鴣草葺不合尊は一人ではなく、七十代程も続く

王朝(ウガヤフキアエズ王朝)であったと記されているとの事?!

そこは、“龍宮の姫”と“地上の尊”の間に誕生した

ハイブリット王朝？だったのでは？

海の底にあるとされる、おとぎの城“龍宮”と

地球の中心にあるとされる理想郷“シャンバラ”が、同じものとされる

理由が、今“龍蛇族”というキーワードでつながりました！^^

(スピリチュアルの世界で当たり前のように言われている事と、一般には常識外として、

完全に無視されている事柄の間で、(?_?) となってしまう地上セルフです、笑)

【龍神、龍蛇族について】地上セルフが真実では？と感じる事です^^

“龍蛇族”は、シリウス(プレアデス経由で?)から飛来した、龍型生命体で

地球の創生には、この“龍蛇族”と呼ばれる、地球外生命体が関わっており

その中心となっていたのが、国常立大神であったと言われます

(国常立大神が、龍型生命体=宇宙人だったというよりも、その時のボディがそうであった?では)

また、出口王仁三郎氏(大本教)も

天地開闢の時、泥と海とで混沌としていた地上を、造り固めていったのが

“国常立大神”をはじめとする、天の神々(=宇宙人)であり

その姿は“龍神”であったとの事、そして

地上に誕生した生命に、その遺伝子を加えて生み出したのが私達“人”

人類誕生に関わったのは五色(赤、青、黄、白、黒)の龍神で

その中心として黄金色に輝いていたのが“国常立大神”(黄金龍神)であり

黄色人種とされる日本人は、その直系であるとの事です^^

(はやくも、金城靈澤の黄金龍が動き出した?!)

あっ、“良の金神(国常立大神)の封印”とは

私達の意識の封印?! だったのでは?

本来は、壮大なる宇宙の一員であるはずの地球人類が

地球人という、小さな殻(意識の枠)の中に、閉じこもってしまった時から

国常立大神は、“シャンバラ”=“龍(の)宮”に身を潜め

私達の意識が目覚める日を、ともにじっと待っていた…ではないでしょうか?

準備 OK!!

私達はもう、目覚めはじめています!!

人類は今、大きな転換期を迎えていて、一人一人が

新しいものの見方、生き方をはじめるときがきたのだと思います^^

具体的には

ごく少数の限られた人がトップに立ち、残りの大部分が

その指示に従うようにして生きて来た“ピラミッド型社会”から
みんなが、たった一つのもの
= “愛” という中心に向かって
“喜び”、“ワクワク”のままに進んでいく事で
その喜びの輪(和)が大きく拡がっていく“マルテン型社会”へと
移行していく感じです^^

そのために必要なことは、明確な“自己の意志”を持つこと！
世界にたった一つの、オンリーワンの自分を大切に
表現していくことではないでしょうか？

自身の個性をいかし、伸び伸びとした日々を過ごす事によってはじめて
他者の個性をも尊重する、心のゆとりが生まれ
ウインウインの、豊かな可能性の未来が開かれていくのだと思います
私は、神話やおとぎ話を否定するのではなく
そこに感じるワクワク(魂の導き)を、希望の未来につなげていきたい！
そんな風に思います^^

金劔宮は、“金の劔(劔)”の宮、
劔から連想されるのが“天叢雲劔”あまのむらくものつるぎ (草薙劔)くさなぎのつるぎ

八岐大蛇退治で知られる、“素戔鳴尊”が浮かんできます
素戔鳴尊は、国常立大神の分身であり、その龍体エネルギーとされ
強大なパワーの荒ぶる神、まさに“良の金神”のイメージです
金劔宮の主祭神は、天孫“瓊瓊杵尊”ですが
“大国主神”、“大山咋尊”、“日本武命”、“事代主神”、“猿田彦大神”等が

併せ祀られていて、大国主は、日本の国を造ったとされる
偉大な神であり、素戔鳴の子孫といわれます
自身が金劔宮の御祭神をみて、最初に感じた事が
“天津神”と“国津神”が一緒に祀られているけど、どうして？でした
瓊瓊杵尊は、天孫であり、天津神(大和族)の代表とされ
大国主命は、国津神(出雲族)代表であり、
別々の神社に祀られているのが普通では？と、思っていたからです^^
でも、それは自身の思い込みでしかなかった事に気付きました
“天邇岐志国邇岐”(=天にも地にも親和的な)瓊瓊杵尊の元に集う神々！
また、大国主大神を主祭神とする“出雲大社”においても
天津と国津、両方の神々が祀られているとの事^^
思い込み、意識の壁を外せば、もっともっと大きな世界が見えてくる～！
そこが、本当の神々の世界なのではないでしょうか？
金の劔(劔)は、越の国(白山)がもつ“天叢雲劔”でもあり
黄金色に輝く、根源太陽の愛と光、∞の創造の御劔なのだと思います^^

金劔宮は、龍宮城へとつながるポータル！！



金劔宮は、古くは、劔宮(つるぎのみや)と呼ばれ
“鶴来(つるぎ)町”という地名の、由来となった場所とのこと

浮かんできたのが

鶴と亀がすべった?!

“鶴”と“亀”に象徴される、様々な二極

陰と陽、男性性と女性性、大和と出雲、ユダヤと日本等の全てが
今ここに^す統べられ(統合され)、新しい時代がはじまっていく~!!!

との、メッセージを感じます^^

金劔宮における昇殿参拝も、素晴らしい体験でした

実直というか、一つ一つの所作が丁寧で、真心がこめられていて

古くからの伝統が、大切に引き継がれているのだと感じました

基本として、昇殿参拝は、一回につき一人を対象にされているそうで

その理由は、一人一人の願いを、丁寧にお取次ぎする為

との宮司さんのお言葉、心に沁みました

参拝の前に、「ご祈願の内容は、どのようなものですか？」

と尋ねられ、ちょっと困ってしまいました…

自身の中今の願いは、ズバリ

「皇の星(究極の愛の星) = “新しい地球” 創生の、神(天)人となり

根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN を

全宇宙の協働創造の場として、最大限に生かしたい!!!」ですが

そのままお伝えしても、混乱される(困ってしまう)に違いない… 言葉にしたのは

「本当にやりたかった仕事に就きたいのです」だけでした

(迷いを吹き飛ばすが如く?) 宮司さんから返ってきたのは
「では、諸々ですね！」との、あかる~いお返事!? ザックリだけど、しっくり?!

という事で、諸々が起こることを、楽しみにしたいと思います(笑)

白山比咩神社(白山)は、“大宇宙”の総合窓口?であり

金劔宮は、地元日本神界、龍宮神界の窓口?!

という感じでもあります^^

根源アセンションプロジェクト 白ハム山(太陽)

根源アセンションプロジェクト HAKU(hamu) SUN 

の目的は

全ての存在が生まれ出た故郷、一なる至高の根源

究極の愛の源(根源太陽)へと、再び帰っていく道しるべとなる事

“根源へと帰っていく”、とは

もともとは、たった一つのものであった命(魂)が

様々な学び、体験を通して、更なる、成長・進化を遂げるために

分裂、細分化してきた道のりを、引き返していくことで

それは、∞の次元における再統合であり、“根源へのアセンション”です

自身の“根源アセンション・プロジェクト”の特徴は

その究極の目的地である“根源”を、そのままこの“地球”としている点です

何故ならば、その究極の根源神(皇御親)が

今この地上に、共にあるからです^^

私は地球を卒業して、どこか他の星へ行ってしまおうのではなく

この地球を、皇御親が願う、“究極の愛の星”・“根源の皇の星”にする!!

その為に、何度も転生を重ねて準備してきたのが

“根源アセンションプロジェクト HAKU (hamu) SUN”！！

根源の愛と光のネットワーク(壮大なエネルギー空間)

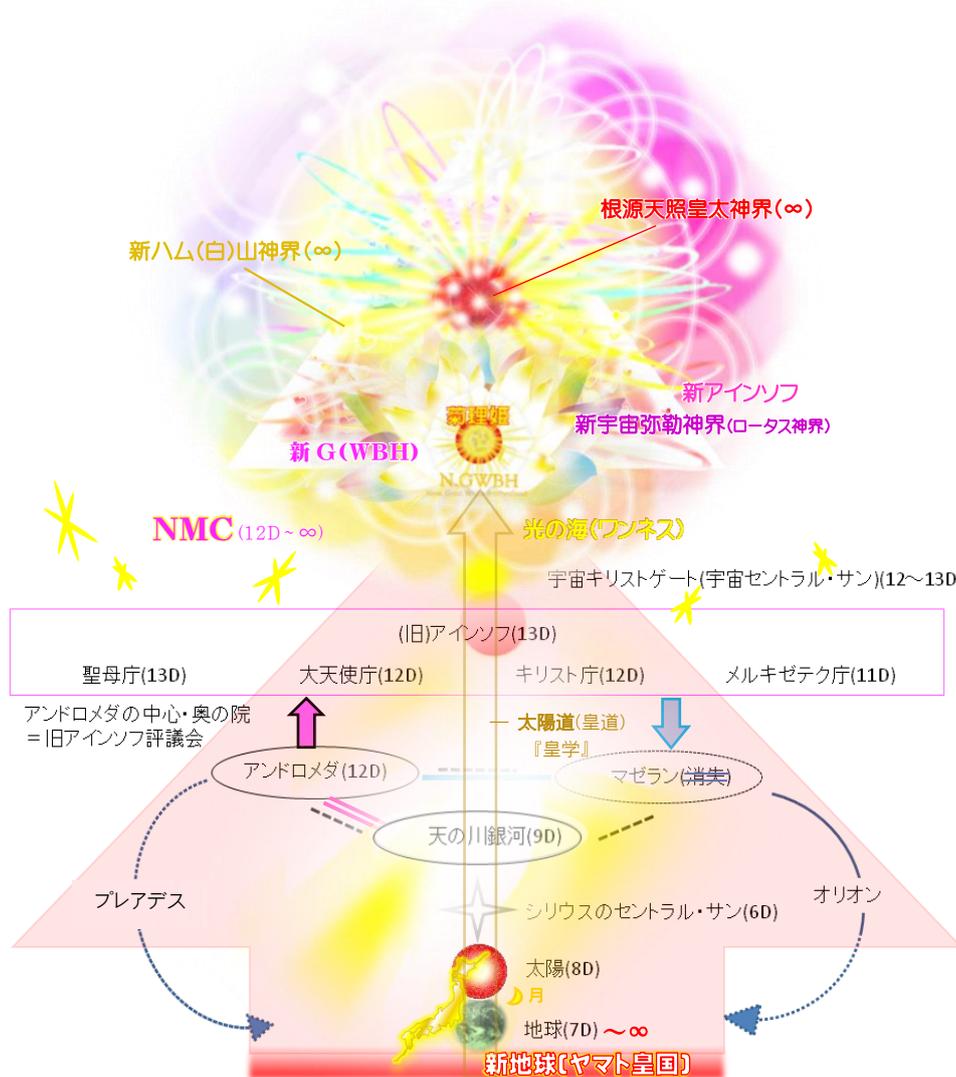
次元の壁を超えた、協働創造の場です^^

中今の私の中にある、【宇宙 MAP】です

(内にあるが如く、外にも)

一番上にあるのが“根源”であり、一番下にあるのが“地球”です^^

(上にあるが如く、下にも)



“新・宇宙弥勒神界”とは、NMC(新宇宙)における

神々の故郷であり、根源神界の入り口

—— 宇宙神界 ——

“新・G(WBH)グレートホワイトプラザーフッド”とは

宇宙の各次元のセントラル・サンを結ぶ柱、宇宙の中心軸(太陽道)

進化の為のシステムであり、それを担う愛と叡知のマスター集団

—— 根源天界 ——

“**白山菊理姫太神**”は、あらゆる全てを

“根源の太陽”(グレート・セントラル・サン)である

“根源天照皇太神”へとつなげていく(統合・回帰させる)という

中今の重要なミッションをもつ女神であり、マスター！！

地上セルフは、そのポータル！

—— 神(天)人 ——

そして

究極の愛と光の源、一なる至高の“**根源太陽母神**”分御魂

地上にかがやく**根源の太陽**そのままの“**皇人**”

その決意を明確にし、一年で太陽が最も長く輝く日！

“**2023夏至**”のポータルを

越えていきます！！

あらゆる全てに∞の感謝を！ 2023. 6. 20 皇美・流美